



にんにく産地として更なる発展を目指し ブランド力と知名度向上に努めたい

部会長：對馬伸吾（写真中央）

作付面積：67畝

部会員数：125人

【Twitter】

https://twitter.com/tokiwa_garlic

【Facebook】

<https://m.facebook.com/tokiwa.garlic/>

【Instagram】

https://instagram.com/tokiwa_galic?utm_medium

※SNSの閲覧にはアプリの取得が必要な場合もあります。

輝くみらい人・仲間

常盤基幹支店管内

ときわにんにく部会

○部会の発足について

旧JA常盤村ではにんにくの栽培が盛んで、昭和57年に「常盤村農協ニンニク部会」が発足し、強制乾燥機や乾燥用コンテナ、にんにく冷蔵庫の導入など、本格的なにんにく振興に取り組みました。平成20年のJA合併に伴い現在の部会名となり、当初常盤、板柳地区の生産者で構成されていたが、JA全地区にまで広がっています。

○高品質なにんにく生産に向けて行っていること

優良種子の確保と土壌診断による土づくりを徹底することで、高品質なにんにくの安定生産を図っています。

また、生産者が適切な栽培管理や乾燥調製、収穫時期を確認できるよう講習会などを開催しています。

○ブランド力強化やPR活動について

部会員のブランド志向の高まりから、登録商標に取り組み、平成20年に登録商標「常盤」を取得しました。令和3年は更なるブランド力強化を図るため、「ときわにんにく」で地域団体商標に取り組み、令和4年2月28日登録されました。また、にんにくの生産情報や部会の活動を消費者へ伝えるため、フェイスブック、ツイッターといったSNSを活用したPRを行っています。

○今後の目標について

通年出荷ができるよう、生産量の増加を目指します。また、貯蔵管理を徹底させ、安定供給体制を維持することで、市場との信頼性を築いていきます。ブランド強化については、高品質生産・選果に努め、消費者に信頼される産地の確立を目指します。